

1. 果樹栽培における農家の人々の工夫

- (1) 資料Ⅰに示された果物のうち、次の表にあてはまる果物とその主な産地を読み取ってみよう。

生産量が最も多い果物	果物	りんご
	主な産地	青森県
一つの県の生産量の割合が最も高い果物	果物	さくらんぼ
	主な産地	山形県

- (2) 資料Ⅱから、りんごとさくらんぼ・桃の産地の特色をまとめてみよう。

りんご	さくらんぼ・桃
(例) 冷涼な気候でも栽培しやすいため、青森県の津軽平野が主な産地となっている。	(例) 東北地方の中でも南に位置する山形盆地や福島盆地が主な産地となっている。

- (3) 山形県でさくらんぼの栽培が盛んな理由を、資料Ⅲを参考にそれぞれの観点からまとめてみよう。

自然環境	(例) 水はけがよく、日あたりのよい扇状地が広がっているほか、昼夜の気温差が大きく、果樹栽培に向いているから。
人々の工夫や努力	(例) 「佐藤錦」や「紅秀峰」などのおいしい品種を開発してきたほか、雨で実が割れないようにビニールで覆っている。
交通網	(例) 高速道路や空港が整備され、出荷先が増えたほか、観光農園も盛んになった。

2. 生活に根ざした水産業の営み

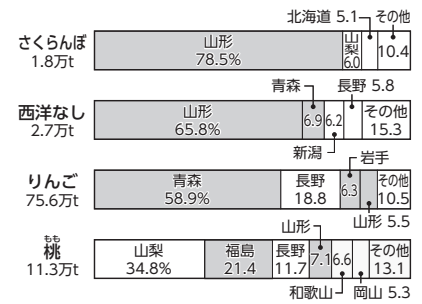
- (1) 次の①～④にあてはまる語句を記入し、太平洋側で漁業が盛んな理由をまとめてみよう。

水揚げ量が多い理由	三陸海岸の沖合いには、寒流の(① 親潮)と暖流の(② 黒潮)が出会う(③ 潮目(潮境))は魚が集まる豊かな漁場になっている。
養殖業が盛んな理由	(④ リアス海岸)が続く三陸海岸の入り江や、青森県の陸奥湾は、波が穏やかで、養殖に適している。

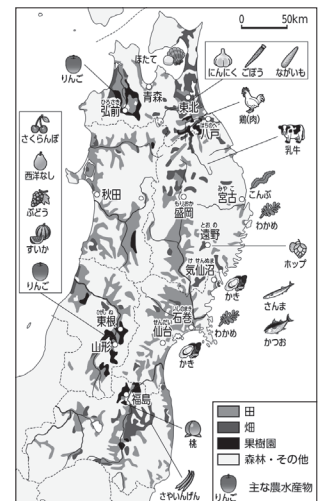
- (2) 東北地方で水揚げ量が多い主な漁港を挙げてみよう。

(例) ハ戸 気仙沼 石巻 など

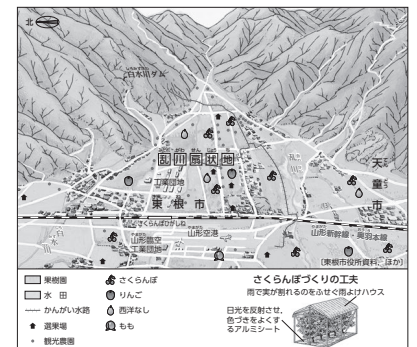
資料Ⅰ 主な果物の生産量



資料Ⅱ 東北地方の土地利用と主な農水産物



資料Ⅲ 山形盆地の果樹栽培



本時のまとめ

◆ 東北地方の果樹栽培農家にみられる生産の工夫について、説明しよう。

(例) さまざまな果物を組み合わせて育てることで、1年を通じて収入が得られるように工夫しているほか、交通網の整備に伴い、全国各地や海外に製品を出荷したり、観光農園を開いて観光客を呼び寄せたりする取り組みが行われている。